

定例記者会見資料 令和7年9月10日 政策企画部政策企画課公共交通対策室

1 目的

奥州市の公共交通の現状と課題を共有し、市民、公共交通事業者、行政とで将来の姿を考える機会とする。

2 開催日時・場所

日時：令和7年9月21日（日）10:00～15:00

展示イベント 10:00～15:00

シンポジウム 13:30～15:00

会場：奥州市文化会館（Zホール） 展示室ほか

3 プログラム（案）

(1) シンポジウム（13:30～15:00）

ア コンセプト

公共交通を取り巻く環境が厳しくなる中、交通事業者の努力だけでこれまでの路線や便数を維持することが困難な現状にある。地方都市においては、既に地域や時間帯によって「交通空白」が生じており、当市においてもこうした傾向が顕著になってきている。

こうした交通空白を回避するには、行政、交通事業者に限らず地域が持つ交通資源を総動員するとともに、利用者も地域の公共交通を守ろうとする意識を高める必要がある。

今後の地域における公共交通ネットワークを持続可能なものとするため、ユーザー、交通事業者、地域のそれぞれの立場からどのような取組ができるかを考える機会とする

イ テーマ

「地域の多様な主体の連携で築く未来の公共交通」

～生活に欠かせない買い物や通学など

移動手段をどう守っていくか～

ウ プログラム

・事例発表（13:35～14:00）

地域の視点から … 「交通空白への取り組みについて」

伊手振興会 境田洋春 氏

市の取り組み（説明）

・パネルディスカッション（14:00～15:00）

コーディネーター NPO法人いわて地域づくり支援センター
常務理事 若菜千穂 氏

パネリスト 愛宕地域振興会 事務局長 阿部千明 氏
胆江地区タクシー業協同組合

理事長 高橋千亜紀 氏

水沢商業高校生徒

(有)胆沢交通 専務取締役 永井和美 氏

伊手振興会 事務局長 境田洋春 氏

(2) 展示・イベント（10:00～15:00）

・自動運転EVバス車両の展示、試乗会

・事業者の取り組み、市の取り組みのパネル展示 など

(3) その他

岩手鉄道模型仲間の会

「鉄道フェスタ2025」と同時開催



※R6の様子

定例記者会見資料 令和7年9月10日 政策企画部政策企画課公共交通対策室

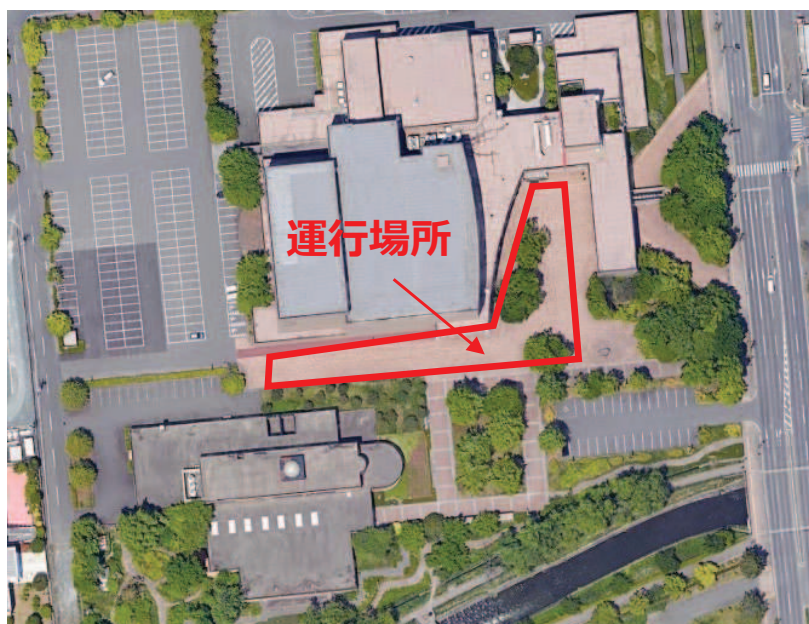
自動運転車両（使用車両概要）

項目	内容
車両名	EVO
乗車人数	最大 10人 実証実験時の乗車人数 8人 (乗客最大8人+ドライバー1人+保安員1人)
サイズ等	全長:4,770mm 全高:2,650mm 全幅:2,090mm 重量:2,690kg 総重量:3,350kg
性能・特徴	最高速度:18km/h 平均稼働時間:一充電当たり9時間(100%電気自動車) 搭載機能:LiDAR(3D・2D)、GNSS、SLAM等
使用台数	1台
自動運転レベル	レベル2



MACNICA

© Macnica, © Macnica, Inc.



● 運行概要

【運行区間】: 1週280m

【運行時間】: 9/21(日) 10:00~15:00

※荒天の場合は中止

● 運行ダイヤ

- 基本往復利用とする。
- 片道5分程度、乗降者時間10分を想定。
- 1時間当たり3便程度運行を想定。

表: 運行ダイヤ

時間	Zホール玄関前発時間
10時台	00 20 40
11時台	00 20 40
12時台	00 20 40
13時台	40
14時台	00 20 40